

教育委員の学校訪問について

1 目的

教育委員が学校を訪問し、各学校における教育活動の現状や課題等を具体的に把握するとともに、教育委員会としての方針や考え方を伝え、相互の理解を深めることにより、学校教育のさらなる充実に向けて、教育行政の一層の推進を図る。

2 方法

＜昨年度からの見直し＞

- (1) 訪問時に、より実務に即した対応ができるよう、教育委員1名に対して、管理職に加えて、指導主事1名が随同行する。訪問校との調整等は管理職が行う。
- (2) 管理職の随同行は1名に縮小し、年度ごとに持ち回り制とする。
- (3) 年間スケジュールを見通して、より適切な時期に訪問ができるよう、年度当初に、随同行する管理職と指導主事が教育委員と協議し、教育委員の希望するテーマにふさわしい訪問時期のめやすを決定し、総務担当に報告する。総務担当は、テーマ及び訪問時期の概要をまとめ、各委員に周知する。
- (4) 訪問内容や時間設定等を含め、個々の状況等に応じて適切に多様な形態をとることとする。例えば、喫緊の教育課題等のテーマを設定しての訪問や複数の教育委員による合同訪問など、よりふさわしい実施方法があれば、指導主事が助言する。

＜従来通りの内容＞

- (5) 訪問終了後、随同行した課長等が訪問レポートを作成し、これをもとに教育委員が教育委員会会議で報告を行う。なお、会議終了後には、各学校へ訪問レポートを送付する。

3 令和5年度グループ

荒川委員	武田情報化推進担当課長、本所指導主事
橋委員	前藺明商事務局長、赤枝主幹兼学校指導係長
橋本委員	谷田青少年教育担当課長、今市主任指導主事
川本委員	小島学校教育課長、山本主任指導主事

4 （参考）学校訪問輪番表

	R 5	R 6	R 7	R 8～
4年目委員	①青少年教育担当課長	⑤児童生徒支援課長	⑨学校給食課長	以降、 左の繰 り返し
3年目委員	②明商事務局長	⑥研修センター課長	⑩学校管理担当課長	
2年目委員	③情報化推進担当課長	⑦研修センター所長	①青少年教育担当課長	
1年目委員	④学校教育課長	⑧総務担当課長	②明商事務局長	

※「〇年目委員」とはそれぞれ4月の時点での委員の任期の年次をいう

※管理職の増減がある場合、挿入又は削除により、繰下げ又は繰り上げを行う。